

羽田・萩中文化センターまつり

「大にぎわいの 萩中ふれあいまつり」

九月二十八日(二十九日(土日)の二日間、第三十五回萩中ふれあいまつり)を開くことが出来ました。曇り空でしたが、天気も応援してくれまし

午後一時からの開会式には、区長はじめ、たくさんのお客様の皆様方にお越しいただき、可愛い出雲子アガールのセレモニーも含めてスタートしました。七月から準備がスタートし、猛暑のなか、全体会三回役員会三回、部門会二回の会議を経て、計画を立てます。役員会のなかには、庶務広報設備撤去模範店の各部門があり、それぞれの細かな役割がありますが、今後は高齢化を考慮して、少し手直しが必要との意見も出ています。館内での展示は素晴らしい、皆さまに感動していただきました。一年間の苦勞が想像できます。発表のサークルも、会員の減少を理由に、出演できるサークルは十二サークルになり、他からのゲスト出演で場をつぎましましたが素晴らしいプログラムで、客席もいっぱいになり拍手喝采でした。模範店は、祭りには欠かせないもの



（萩中文化センターまつり 実行委員長 村山 美智恵）



（羽田文化センターまつり 実行委員長 横山 和文）

「第三十九回 羽田文化センターまつり」

晩秋らしい天候に恵まれた十月二十六日(二十七日(土日)の二日間「羽田文化センターまつり 羽田くんもん祭(さい)」を開催しました。

衆議院選挙の期日前投票 投票当日と重なり、会場レイアウト変更など想定外のことが発生しましたが、実行委員会を中心に柔軟なアイデアと創意工夫で準備を進めました。ステージ発表・展示では合わせて二十二サークルの参加があり、一年間の活動成果を十二分に披露し、二六〇〇名の来場者も十分に楽しめました。また、模範店の提供する多彩なメニュー、きなこ餅配布に舌鼓を打つ姿も見られ、文化の秋を彩り、笑顔あふれる賑やかなおまつりとなりました。

次回(今年)も祭りは開催四十周年節目の年となります。今回参加のサークルは次回に向けてすでに走りだしています。これからも羽田地区の文化活動向上地域活動の拠点としての羽田文化センターをよろしく願っています。

新春を迎えて〜羽田特別出張所長着任のご挨拶〜



昨年四月に羽田特別出張所長に着任致しました清水嘉泰(よしやす)と申します。私は民間企業を経験後二十三歳で入庁し今年で区職員として十五年目となります。

羽田地区ではこれまで、災害に強いまちづくりや、出張所管内の公共施設の改修工事などの業務を経験させていただきました。特に昨年度までは、二年間羽田地区の防災まちづくりを担当し、今般出張所長に就任したことで引続きこの地域の発展を目指す業務に携わることができ非常に光榮と存じます。

早いもので着任から九か月が経ちましたが、多くの地域の方と接するうち、羽田地区の知識が深まり、新たな発見や経験があることで日々楽しい気持ちで業務に励んでおります。

着任初年度からこともガーデンパターティと、ふれあいまつり羽田 萩中の五年ぶりの開催に携わることができ、新たな経験を積ませたいといった事は非常に幸運でございました。この羽田地区は古くからのお祭りが盛んな文化により、人々の繋がりが強いことから、皆さんから人情味が溢れ、多摩川には豊かな自然や素晴らしい眺望がございます。また、羽田空港を抱える地域であり、今後の益々の発展が期待できる区内で最も面白い地域です。

☆ 編集後記 ☆

新年あけましておめでとうございませう。暑い暑い夏が終わりました。皆様お身体は大丈夫でしたか。萩中公園少年野球場で行われた「第十三回ふれあいまつり羽田 萩中」も昨年は無事開催の運びとなりました。日常を取り戻せたら良いのですが、次から次へと作業が続く、休んでいる暇が無い事と思います。さて、シテッククラブで区内の名所を撮るという企画があったのですが、森ヶ崎公園の近くで変な高速道路を見つめました。いつ使うのか分からずじまいです。知っている方居ますか？

本号が楽しく読んで頂けたのなら幸福です。 はばたき20編集委員 宮下 精二



※今号発行に際しては、公益財団法人伊東奨学会の寄付金が活用されています。厚く御礼申し上げます。

羽田特別出張所は羽田文化センター、萩中文化センター、萩中集会所も所管しており、総勢二十五名で運営しております。各職員が皆様のご理解協力のもと、地域のために日々業務に励んでおります。業務は多岐にわたりますが、地域力の推進、各種手続きなどを取扱う住民サービス、区民に活動の場を提供し地域の振興を促進する文化センターや集会所の運営など大別して三つの業務がございます。それぞれ重要な業務ですが、その中から地域力の推進について触れさせていただきます。地域力とは、区民一人ひとりのちからを源とし、町会、事業者、団体、NPOなど様々な主体が持つ力、それら相互及び区との連携協働によって生まれる力を含んだものであり、防犯・防災、福祉、子育て、教育、産業、環境、国際交流、まちの魅力づくりなど多様な地域の課題を解決し、魅力ある地域を創造していく力と定義付けられています。近年では複雑な社会情勢から町会の担い手不足の問題が顕在化しており、地域力の推進において非常に悩ましい状況です。しかしこの状況下においても地域の歩みを歩で前に進めていかなければなりません。出張所職員同知恵を絞り、この時代においても持続可能な取組を、皆さんと共に誠心誠意行っていく所存です。どうぞ引続きのご支援、協力をお願い申し上げます。(羽田特別出張所長)

□ふれあいとるおいのあるまち
地域情報紙 Vol.35 新春号
No.118
はばたき
□発行 地域力推進羽田地区委員会 □編集 はばたき20編集委員会

新春を迎えて〜羽田特別出張所長着任のご挨拶〜
6